

差別事例をもとに考える

ワークショップ



「差別解消法」ができてこの4月で3年目をむかえます。「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進する条例」が4月で2年。法律、条例は制定されましたが、障がいを持つ人の暮らしはいかがでしょうか？大切な事は障がいを持つ人も持たない人も共に生きていく普段の社会づくりだと思います。それには、差別とは何かと言う事を共通の理解としていく事が必要です。今回、差別等の事例を通して考えていくワークショップを企画しました。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています。

日時 平成31年1月19日（土） 13時30分～17時

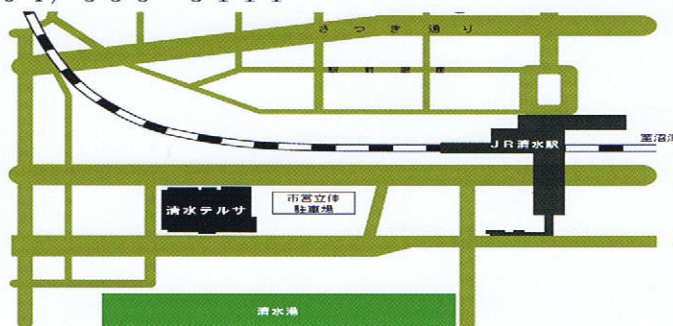
場所 清水テルサ7階 大会議室（東部勤労者福祉センター）

静岡市清水区島崎町223番地 TEL（054）355-3111

JR清水駅東口（みなと口）から約5分

参加費 無料

締切 1月11日（金）



【内容】

- はじめに（主催者） * 13時30分～13時40分
- 静岡県障害者政策課 * 13時40分～14時10分（静岡県差別解消条例の施行状況）
- DPI 日本会議 * 14時10分～15時（差別解消法と東京都差別解消条例について）
- * 15時15分～16時45分（グループワークで事例検討）
- * 16時45分～17時 まとめ

主催 静岡県 CIL 連絡協議会

共催 静岡県差別禁止条例づくりの会

協賛 特定非営利活動法人 DPI 日本会議

問合せ 静岡県 CIL 連絡協議会（事務局 静岡自立生活センター 担当大川）

TEL：054-270-6380 FAX：054-287-4922 e-mail：syoujiki@scil.jp

※この企画は、静岡県合理的配慮理解促進事業でおこないます。



氏名		(所属団体)
住所		
連絡先		
障害の有無 (○を付けて下さい)	車いす等 情報提供（要約筆記 ・ 手話通訳 ・ 点字）	